



# 旭川市農業の概要

農政部農林整備課

# 旭川市の概要

- 面積 747.66km<sup>2</sup>
- 人口 32万5,039人
- 世帯数 17万8,015世帯
- 気候

真夏日	約11日
真冬日	約74日
年間降水量	約1,104mm
年間雪日数	約152日

※値は平年値



# 農業の概要

- 農地面積

田10,297ha 畑 5,796ha 樹園地 109ha

- 農家数

1,116戸

- 認定農業者数

730戸

- 農産物生産額

約100億7,131万円

※R3年度実績



# 主な生産品目

品目	作付面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (千円)
水稲	5,790	36,200	7,547,700
そば	1,260	870	218,631
大豆	764	1,390	182,507
てん菜	167	12,200	137,860
ばれいしょ	137	2,544	124,209

※令和3年度実績



# 農政部の予算

※R4年度予算額

区分	予算額(千円)	主な内容
農業振興費	311,933	新規就農者の確保・育成対策 中山間地域等直接支払交付金
農産園芸振興費	79,928	スマート農業導入支援 環境保全型農業直接支払交付金
農業センター費	82,390	農業センター管理, 土づくり支援
畜産業費	24,751	市営牧場の管理
農地改良費	713,216	多面的機能支払交付金 基盤整備事業, ダム管理
農村施設管理費	40,065	若者の郷施設管理
林業振興費	195,662	森林整備, 林業担い手支援
市有林費	112,289	市有林管理
災害復旧費	8,000	農地等の災害復旧
合計	1,568,234	

## ほ場整備事業の実施状況

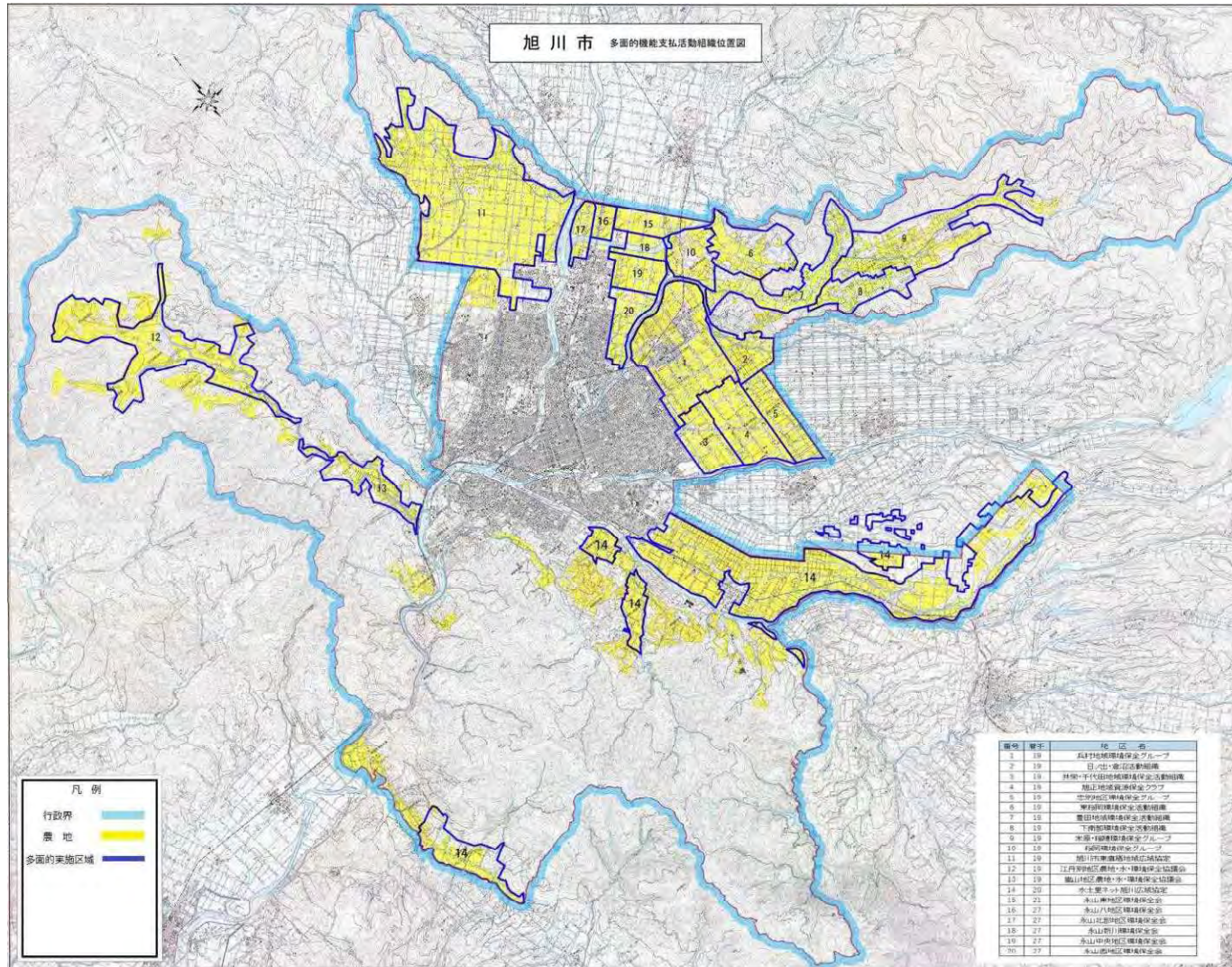
	事業主体	地区名	面積 (ha)	事業期間	事業費 (百万円)
1	国	旭東	1,963	R1～R15	49,400
2	北海道	忠別北	220.2	H25～R4	3,106
3	北海道	兵村北	102.3	H27～R6	2,862
4	北海道	東1	91.7	H28～R5	1,237
5	北海道	忠別南	98.8	H29～R8	1,450
6	北海道	旭正北中央	117.3	H30～R8	1,850
7	北海道	永山西第1	52.4	R2～R8	1,200
8	北海道	旭正南第1	106.8	R4～R12	3,000

# 多面的機能支払交付金

※R4年度現在

- 組織数 20活動組織(うち 2広域組織)
- 交付金額 3億7,820万円  
(農地維持 2億2,629万円・資源向上 1億5,191万円)
- 交付面積 11,081.26ha  
(田9,004.43ha・畑1,895.03ha・草地181.18ha)







# 旭川市

## 兵村地域環境保全グループの概要

日時 令和4年11月9日(水)10:00～

場所 東和土地改良区2階 会議室

# 兵村地域環境保全グループ設立の経緯

- ▶ 平成19年4月11日活動組織設立総会を実施
- ▶ 農地・水・環境保全向上対策活動の取組を開始
- ▶ 町内26集落を1組織で活動することとし、各地区の構成員が広域に活動することで様々な共同活動を行うこととした。

## 兵村地域環境保全グループの詳細

- ▶ 取組面積 田 76,148 a 畑 3,452 a
- ▶ 農業用施設 用水路 78.5km 排水路 4.7km 農道 38.7km
- ▶ 交付金 農地維持17,859千円 資源向上12,938千円 合計30,797千円
- ▶ 構成員数 農業者 231名 非農業者 31名 団体 2団体
- ▶ 主な構成員 農業者、JA、自治会

## 4月実施

### 施設の点検



役員が巡回し施設点検  
機能診断を実施

### 用水路の泥上げ作業



愛護組合ごとに実施時期を決め、  
構成員が実施

### ゴミ拾い作業（4月～10月）



町内会ごとに実施

## 5月実施 水田のゴミ上げ



農業者が実施

## 配水操作作業（5月～8月）



愛護組合ごとに実施時期を決め、構成員が実施

## 6月～8月実施 畦畔の草刈作業



農業者が実施

## 水路の草刈作業



愛護組合ごとに構成員が実施

# 6月～10月実施 植栽作業



道路路肩に約1kmマリーゴールド2,200株を植栽  
定植、水やり、片付け作業を実施

## 10月実施 砂利敷作業



要望を取りまとめ構成員が実施

## 11月実施 溝切り作業



農業者が実施

## 3月実施 融雪剤散布



農業者が実施

# 取組効果と今後について

## ▶ 取組の効果

本事業に取り組むことにより農用地、水路、農道等の保全管理が適切に行われ、植栽の取り組みについては地域住民が愛着を深め、自然環境を実感できる景観づくりができたと感じている。

## ▶ 今後の課題

高齢化により、役員の成り手不足及び農地や農業用水、農村地域の資源を農家だけで適切に保全・管理することが難しくなっている。

## ▶ 今後の目標

東和土地改良区エリアの活動組織については、9地区あることから広域合併を目標とし事務負担の低減、役員の削減及び全域で活動を行うことで効果を発揮していきたい。



兵村地域環境保全グループ  
区域図面

